



れんごう茨城

2022年12月14日

No. 132

発行 日本労働組合総連合会
茨城県連合会
(連合茨城)

発行人・高木 英見 / 編集人・大森 玄則
〒310-0022 水戸市梅香 2-1-39
TEL 029(231)2020/FAX 029(227)8610

ホームページアドレス
<http://ws1.jtuc-rengo.or.jp/ibaraki/>

連合茨城 第30回 定期大会



連合茨城会長
内山 裕

連合茨城第30回定期大会は、『安心社会へ新たなチャレンジ～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ～』をスローガンに、10月28日(金)13時30分から、水戸京成ホテルで開かれた。未だ収束が見えない新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、代議員をはじめ参加者の制限を図りつつ、全体で150名規模での大会となった。

大会では、2022年度活動・会計報告ならびに2023年度活動方針(案)・予算(案)について満場一致で承認・決定されるとともに、一部役員交代に伴う、新役員選出が行われた。

大会は、最後に「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざした大会スローガンを全体で採択し、閉会となった。

〈会長挨拶要旨〉

【すべての働く仲間をまもり、つなぐための集団的労使関係の追求と、社会に広がりのある運動の推進】

コロナ禍において、多くの働く仲間が厳しい状況におかれています。私たちは、この現状を直視し、雇用の維持と創出、賃金・労働条件の向上、社会的セーフティネットの確立などに全力を挙げていかなければなりません。

そのためにも、運動スタイル自体を進化させなければなりません。リアルとオンラインそれぞれの特性を適切に融合し、職場にあっても地域にあっても、全ての仲間にとって「必ずそばにいる存在」として、位置づけを更に高めていかなければなりません。「県内の働く仲間、県民の皆さんに、連合茨城を知ってもらい、認知度を高めていくこと」に最大限の努力をしていきたいと思ひます。

【政治活動について】

「第26回参議院議員選挙」については、これまで、私

たち、働く仲間・生活者の代表として、4期24年間、連合茨城組織内議員としてご活躍をいただいた「ぐんじ彰」参議院議員のご勇退に伴い、後継については、組織内から擁立したいという強い思いがありました。

立憲民主党、国民民主党の両県連において、連合茨城の思いに前向きな理解と大きな英断をいただいた結果、2党1団体の枠組が構築でき、連合茨城組織内候補として「堂込まきこ」氏を擁立し、一丸となって取り組めたことで、茨城選挙区の議席を守り抜くことができました。ご支援をいただいた全ての皆様に心から感謝を申し上げますとともに、「堂込まきこ」参議院議員へのご支援をよろしくお願ひいたします。

【労働者・生活者を取り巻く環境の厳しさを乗り越えるために】

2023春季生活闘争の取り組みが始まります。

連合は、各産業の「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組み強化を促す観点と、すべての働く人の生活を持続的に維持・向上させる転換点とするマクロの観点から、賃上げ分を3%程度、定期昇給相当分を含む賃上げを5%程度とする方針を掲げました。

私たちは「人への投資」を含めて賃金の底上げを継続していかなければなりません。連合茨城としても、各構成組織との一層の連携強化を図り、特に、中堅・中小労組への情報提供、交渉支援に最大限の努力をし、すべての働く仲間の処遇改善をめざして取り組みを進めます。

【私たちが未来を変える。安心社会に向けて】

すべての働く仲間を「まもり」「つなぐ」ための、集団的労使関係の追求と、社会に広がりのある運動の推進を第一義としながら、連合茨城加盟組織・組合員の皆さんとの、心合わせを大切にしていきます。

この茨城で「連合茨城の発信力」を更に高めて、労働運動を通じて、組合員の皆さんに、県内のすべての働く仲間の幸せと、それぞれの産業・企業の発展、地域の発展を求めて、地域に根差した顔の見える運動を、愚直に進めていきたいと思ひます。

CONTENTS

連合茨城 第30回定期大会会長挨拶	1
第18期 連合茨城執行体制	2
表彰基準に基づく表彰・新規加盟組合	2
定期大会の様子	3

青年委員会・女性委員会共催「2022環境フェスタ」報告	4
連合茨城「新入組合員セミナー」報告	4
「2023年度重点政策」の要求書提出報告	5
茨城県最低賃金が改正されました	5
しあわせセンター法律相談	5
労働相談事例から	6

第18期 連合茨城執行体制(後期)

(2022年10月28日～2023年10月定期大会まで)

新規役員



佐々木 琢郎
(UAゼンセン)



中山 幸男
(日教組)



礪山 直樹
(UAゼンセン)



尾坪 雅博
(電機連合)



栗原 毅
(自治労)



平尾 翔太
(森林労連)

役職名	氏名	組織名	備考
会長	内山 裕	電機連合	(専従)
副会長	佐々木琢郎	UAゼンセン	新
	久保田利克	電機連合	
	千歳 益彦	自治労	
	石橋 学	基幹労連	
	会田 和博	自動車総連	
	中山 幸男	日教組	新
	山本 勇	J A M	
	大関 英二	J P 労組	
	西條 昌利	電力総連	
	菅原 康弘	私鉄総連	
	関口 喜一	情報労連	
	中島 智美	UAゼンセン	(女性委員会)
	事務局長	高木 英見	UAゼンセン
副事務局長	大森 玄則	電機連合	(専従)
	狩谷 祐一	電力総連	(専従)
	橋本 博行	基幹労連	(専従)
執行委員	礪山 直樹	UAゼンセン	新
	藤田 実	電機連合	

役職名	氏名	組織名	備考
執行委員	富田 健一	基幹労連	
	松本 浩二	J E C 連合	
	吉田 悟	全国競馬連合	
	野中 弘明	全国農団労	
	森本 憲次	政労連	
	川原井文夫	全水道	
	嶋田 澄夫	国公総連	
	上原 潤一	J R 総連	
	皆川 理恵	J P 労組	(女性委員会)
	執行委員 (地協議長)	蛭田 光一	電機連合
中郡 勝男		電機連合	
関 厚		J P 労組	
梅原 清活		基幹労連	
尾坪 雅博		電機連合	新
会計監査	栗原 毅	自治労	新
	鈴木 隆	基幹労連	
	矢吹 健幸	フード連合	
執行委員	飯泉 誠	運輸労連	
	平尾 翔太	森林労連	新

表彰基準に基づく表彰

1 活動表彰 ◇組織拡大による表彰

組 織 名	組 織 名
1 UAゼンセン茨城県支部	・テクニカルアーツユニオン
2 基幹労連茨城県本部	・MMC リョウテック労働組合 茨城支部 ・日鉄環境労働組合鹿島支部

2 功勞表彰

役 職	氏 名	組 織	任 期	在任期間
副 会 長	小島 弘行	UAゼンセン	2017.10.27～2022.10.28	5年
副 会 長	杉山 繁	日教組	2018.4.1～2022.3.31	4年
副事務局長	武田 宏司	UAゼンセン	2021.10.29～2022.9.30	11ヶ月
執行委員	堂込麻紀子	UAゼンセン	2021.10.29～2022.9.15	11ヶ月
執行委員	池田 正人	土浦地協(私鉄総連)	2020.11.20～2021.11.18	1年
執行委員	斎藤 義夫	県南地協(日教組)	2021.6.17～2021.11.28	5ヶ月
会計監査	金田 光弘	森林労連	2014.4.15～2022.10.28	8年6ヵ月

3 特別功勞表彰

氏 名	経 歴 等
郡 司 彰	参議院議員 (1998.7.26～2022.7.25)

新規加盟組合

① UAゼンセン茨城県支部	
組 合 名	テクニカルアーツユニオン
代 表 者 名	執行委員長 大場 亮
住 所	水戸市城南町2-7-5 2階
組 織 人 員	275人
② 基幹労連茨城県本部	
組 合 名	日鉄環境労働組合鹿島支部
代 表 者 名	執行委員長 三洲 司
住 所	鹿嶋市光3番地
組 織 人 員	20人



議長就任あいさつ・伊澤代議員（基幹労連）左
泉田代議員（UAゼンセン）右



内山会長あいさつ



来賓あいさつ（連合本部 則松佳子副事務局長）



来賓あいさつ（堂込まきこ参議院議員）



特別功労表彰を受ける郡司彰氏



茨城県議会議員選挙へ向けて総決起集会を開催



会場の様子

青年委員会・女性委員会共催 「2022 環境フェスタ」 報告

■ 実施日 2022年10月26日(水) 10:00~16:00

■ 場所 東茨城郡城里町高田国有林・宮の郷木材事業協同組合・木質バイオマス発電所

「環境フェスタ」は、毎年、各構成組織から青年・女性部の組合員が参加し、社会貢献活動の取り組みの一環として、環境保全・保護の推進、森林の活用について理解を深めることを目的に国有林における森林間伐体験を行っています。

今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、連合茨城青年・女性委員会の幹事11名での開催となってしまいましたが、茨城森林管理署のご協力のもと、例年行っている森林間伐体験に加えて、伐採後の製品生産事業請負現場、製材工場、原木市場で、伐採から製材へ加工、販売までの一連の流れを見学させていただきました。さらに、間伐時に出る木屑を再利用してエネルギーに変える、木質バイオマス発電所も見学し、森林活用の過程や、環境保護の重要性を学ぶことができました。

この貴重な経験をもとに、さらなる活動の深化につなげていきたいと思います。



保育間伐体験



製材工場の見学



バイオマス発電所の見学

連合茨城 「新入組合員セミナー」 報告

連合茨城の新たな取り組みとして、11月12日(土) 10時から、新入組合員を対象とした「新入組合員セミナー」を開催しました。各構成組織から16名が参加し、「労働組合の意義や役割」を学ぶとともに、グループ討議において積極的な意見交換を行うなど、今後の活動につながる、有意義な取り組みとなりました。



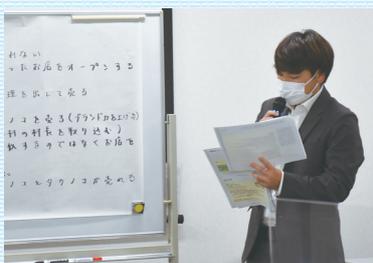
講義Ⅰ：「労働組合とは」
講師：連合茨城 高木事務局長



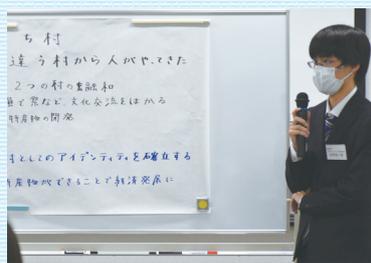
講義Ⅱ：「職場の労働法について」
講師：連合茨城 山口アドバイザー



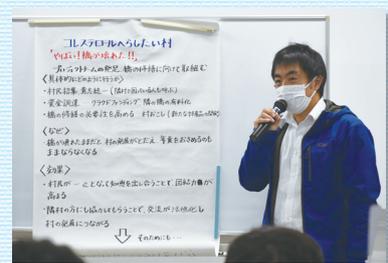
グループ討議の様子
(労働組合の意義と機能)



Aグループ発表



Bグループ発表



Cグループ発表

「2023 年度重点政策」の要求書提出報告



内山会長より榊原産業戦略部長へ
要求書を手交する

- ❶ 日 時 2022年10月18日(火) 10時から
- ❷ 場 所 茨城県庁・茨城県産業戦略部長室
- ❸ 出席者
 〈茨城県〉
 榊原産業戦略部長、大竹産業政策部次長、
 酒井労働政策課長、須能労働政策課長補佐（総括）
 〈連合茨城〉
 内山会長、高木事務局長、狩谷副事務局長
- ❹ 要請内容 「2023年度重点政策」

茨城県最低賃金が改正されました

年齢やパート・学生アルバイトなどの働き方の違いにかかわらず、全ての労働者に適用されます



茨城県 最低賃金

2022年10月1日から

32円
UP

時間額

911円

特定最低賃金決定時間額

件名	時間額	引上げ額	引上げ率	効力発生日
鉄鋼業	1,004円	29円	2.97%	2022年12月31日 から適用
一般機械器具製造業	964円	29円	3.10%	
電気機械器具製造業	961円	29円	3.11%	



しあわせセンター

法律相談



2023年
年間スケジュール

1月21日 土

2月18日 土

3月11日 土

4月15日 土

5月20日 土

6月17日 土

7月22日 土

9月9日 土

10月21日 土

11月18日 土

12月16日 土

相談会場 茨城県労働福祉会館4階「連合茨城事務所内」 TEL 029-231-2020

相談時間 午後1時～（相談時間は1人30分）

事前予約制

労働相談事例から No.21

通勤災害と業務災害の違いは？

労働災害には、「通勤災害」と「業務災害」があります。どちらも、仕事に関する時間に負ってしまったケガなどの災害のことです。同じ労災ですが、下記のように両者にはいくつかの相違点があります。

相談内容

Consultation

車で会社に出勤途中、赤信号で停車していたら、後続車に追突されて、むち打ち症になってしまいました。労災だから全て補償されると思っていたら、会社からは「休業4日目からは労災保険の休業補償が給付されるが、業務災害でないから3日間は労災保険からも会社からも補償がない」と言われました。賃金が安く、3日分の減収は厳しいので、有給休暇で対応することはできるのか。

対応内容

Correspondence

労災保険の休業（補償）給付は、3日間の待期期間があり、4日目から賃金基礎日額の8割が給付されます。業務上災害の場合は、使用者から待期期間中の休業補償が支払われますが、通勤災害では支払う義務がないこともあり、有給休暇で対応することはできます。もし有給休暇が残っていれば、待期期間以降も有給休暇を取得することは可能です。労災保険は8割給付ですが、有給休暇は10割支払われるメリットがあります。休業補償と有給のどちらを利用するかについては労働者に決定権がありますので、使用者はこれを拒むことはできません。しかし、会社はその労働者が有給の取得が5日未満だからと言って、労災の場合は有給の使用を強制してはいけないことになっています。

*業務災害と通勤災害の相違点

- ① 労災保険給付の名称が異なる。(例：業務上災害では療養補償給付等と「補償」の文言が入るが、通勤災害では「補償」が入らない)
- ② 通勤災害では、療養給付に関して200円以内で一部負担金を徴収することが認められているが、業務上では認められない。
- ③ 通勤災害では3日間の待期期間中の休業補償はないが、業務上の場合には使用者が支払う義務がある。
- ④ 業務上災害で休業している場合、労基法第19条の解雇制限により、使用者は労働者を解雇できないが、通勤災害の場合は適用がない。

